

# 生産～出荷・物流まで追跡する 履歴情報の見える化

トレーサビリティシステムを構築し、履歴情報を見える化することで、次の様なことが可能です

## 製造履歴の追跡

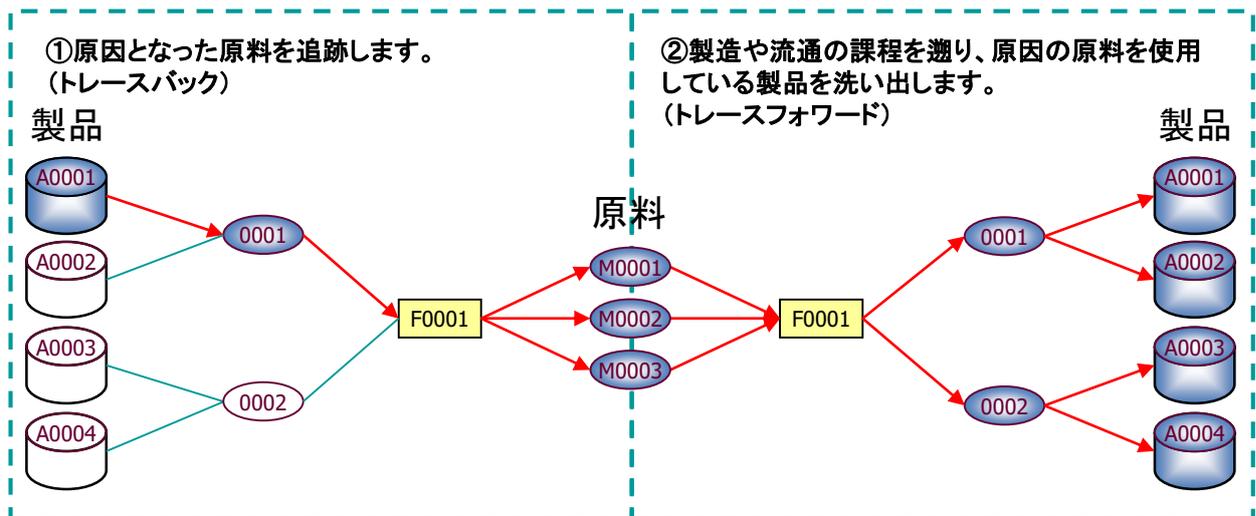
製品の問題が発覚した場合に、その製品がどのように製造されたかを追跡し、製品回収や原因究明を容易にします。

## 取引先への情報開示

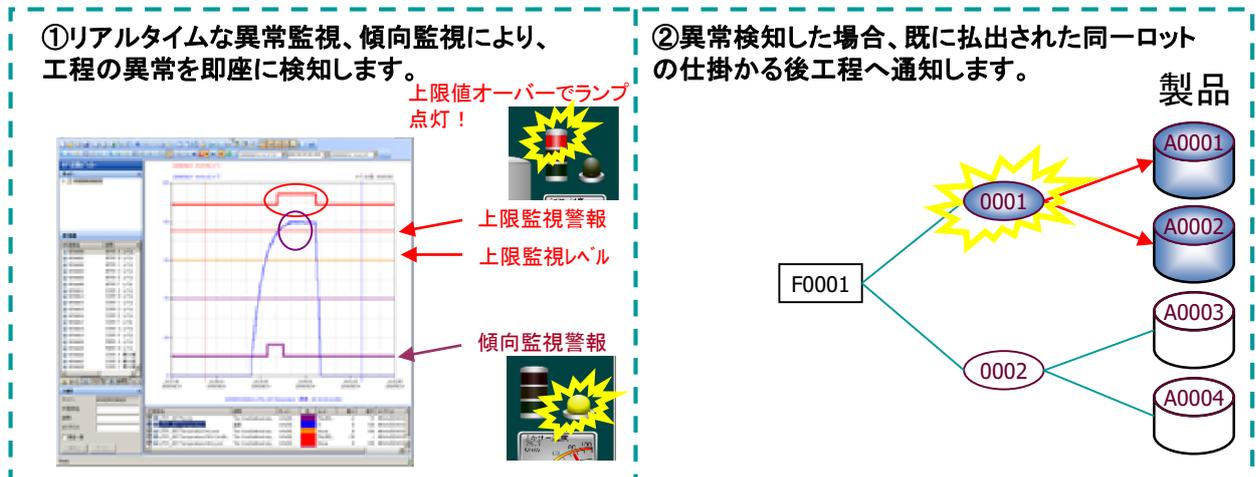
製品毎に製造履歴を公開することにより、信頼性を高め、取引先が安心して製品を購入できるようにします。

原料や製品の品質に起因する製品ロット情報に加えて、操業情報を考慮する製造ロット情報を密に連携することにより効率的なトレーサビリティシステムを実現します！

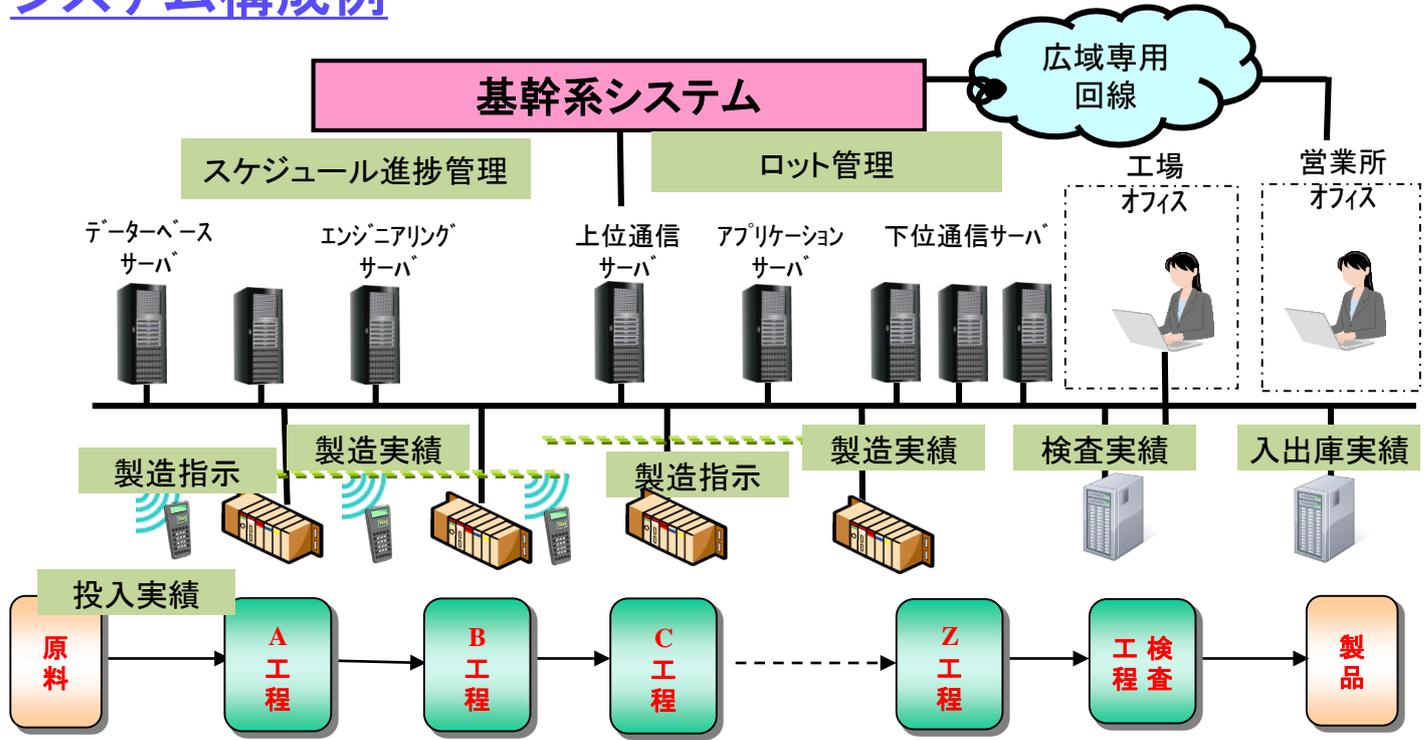
### 製品に問題が発覚した場合の追跡(製品トレーサビリティ)



### 工程に問題が検知された場合の追跡(製造トレーサビリティ)



# システム構成例



## 画面例

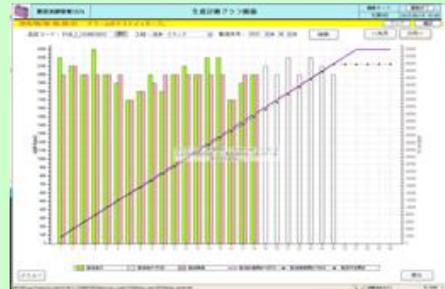
### 材料トレーサビリティ画面

品名コード、工程の操業時刻等から、製品の履歴情報を追跡します



### 生産計画グラフ画面

当日までの生産実績数、当日以降の生産予定をグラフ表示します



### 各種解析レポート

日計・週計・旬計・月計、様々なレポートの作成を支援します



### 設備稼働状況詳細画面

稼働率、歩留、能率等を計算し、グラフ表示します



お問い合わせ

日鉄テックスエンジ株式会社 電計事業本部

■営業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル TEL：03-6860-6630

■システムソリューション事業部 システム2部北九州システムグループ

〒805-8555 福岡県北九州市八幡東区前田1320-4 TEL：093-288-5080

<https://www.tex.nipponsteel.com>